

のと鉄道観光列車のデザインについて

◇デザインコンセプト：

能登の里山里海が織りなす
風景と旬の味を楽しむ、
ぬくもりと懐かしさを感じさせる観光列車。



◇デザインのポイント：

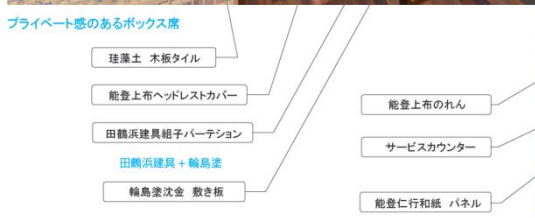
<外装>

能登の海をイメージした
「日本海ブルー（濃紺色）」を
基調とし、
素朴な中にも深みのある
上質感を演出するとともに、
能登に広がる大地や実りを
イメージしたえんじ色の
アンダーラインを施す。

(内装デザインA)



能登の工芸品（輪島塗、珠洲焼、能登島ガラス工芸等）をディスプレイできるギャラリースペース



プライベート感のあるボックス席

- 珪藻土 木板タイル
- 能登上布ヘッドレストカバー
- 田鶴浜建具組子パーテーション
- 田鶴浜建具 + 輪島塗
- 輪島塗沈金 敷き板

- 能登上布のれん
- サービスカウンター
- 能登仁行和紙 パネル



田鶴浜建具組子パーテーション

能登ヒバ材 客室テーブル

海側を望むロングシート

(内装デザインB)



能登島ガラス トイレ手洗い鉢

客室と調和したトイレ空間



プライベート感のあるボックス席

- 珪藻土 木板タイル
- 能登上布ヘッドレストカバー
- 田鶴浜建具組子パーテーション
- 田鶴浜建具 + 輪島塗
- 輪島塗沈金 敷き板

- 珠洲焼 陶板パネル
- 輪島塗 漆芸パネル
- トイレ



能登ヒバ材 客室テーブル

海側を望むロングシート

<内装①>

～能登ならではの雰囲気～

能登ならではのぬくもりと懐かしさを感じさせる、シックな車内空間を演出。

シートの色は、
1両が豊かな里海の「ブルー」、
もう1両が里山の実りの「オレンジ」

<内装②>

～ 素材・工芸品の活用 ～
(ギャラリー含む)

能登に育まれた自然の恵みや匠の心と技を存分に堪能していただくよう、能登の天然素材や伝統工芸品等を車両の部材として活用するとともに、伝統工芸品等を鑑賞できるミニギャラリーを設置。

[天然素材]

- ・「能登ヒバ」の客室テーブル
- ・能登の「珪藻土」を使用したタイル

[伝統工芸品等]

- ・「田鶴浜建具」の組子と「輪島塗（沈金）」がコラボレートしたパーテーション
- ・「能登上布」のヘッドレストカバー
- ・「能登上布」ののれん、「能登仁行和紙」の背面パネル
- ・「能登島ガラス工芸」の手洗い鉢
- ・「珠洲焼」の陶板パネルや「輪島塗」の漆芸パネル

[ミニギャラリー]

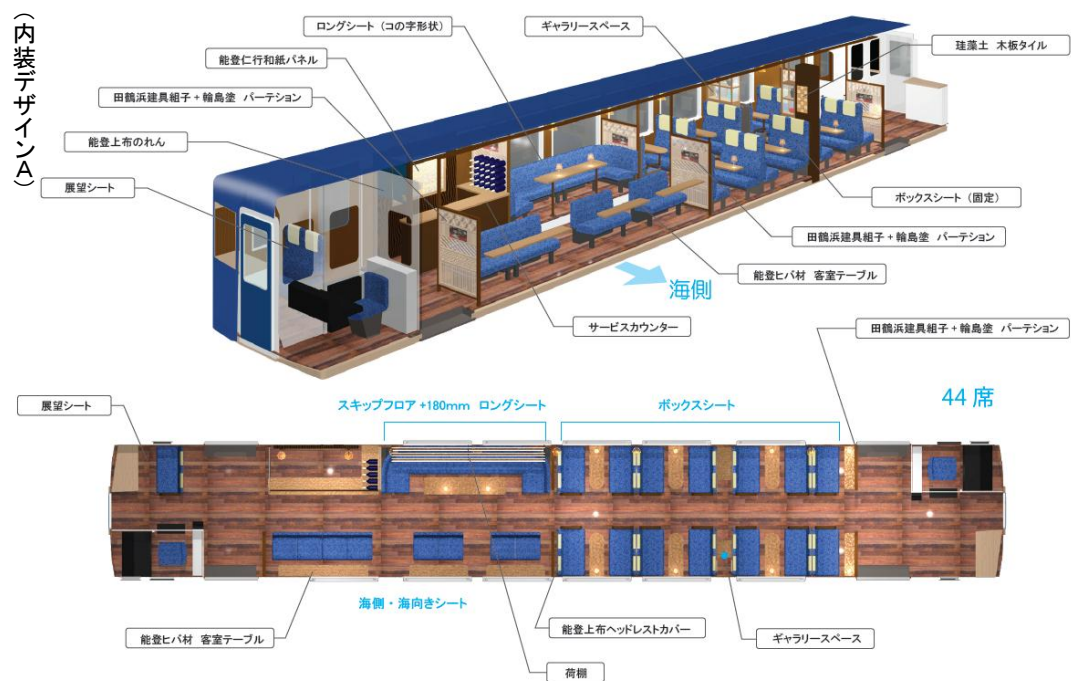
- ・各車両1カ所 各6点程度展示

<内装③>
 ~ 眺望 (座席) ~

里海の眺望を楽しめるよう、
 海向き展望シートを設置するとともに、
 少人数でのプライベート空間を楽しめるよう
 ボックス席も設置。

座席〔計44席〕

- ・海向き展望シート〔14席〕
 (うち山側ロングシート〔6席〕,
 海側ペアシート等〔8席〕)
- ・ボックス席〔28席〕
- ・運転席隣の展望シート〔2席〕

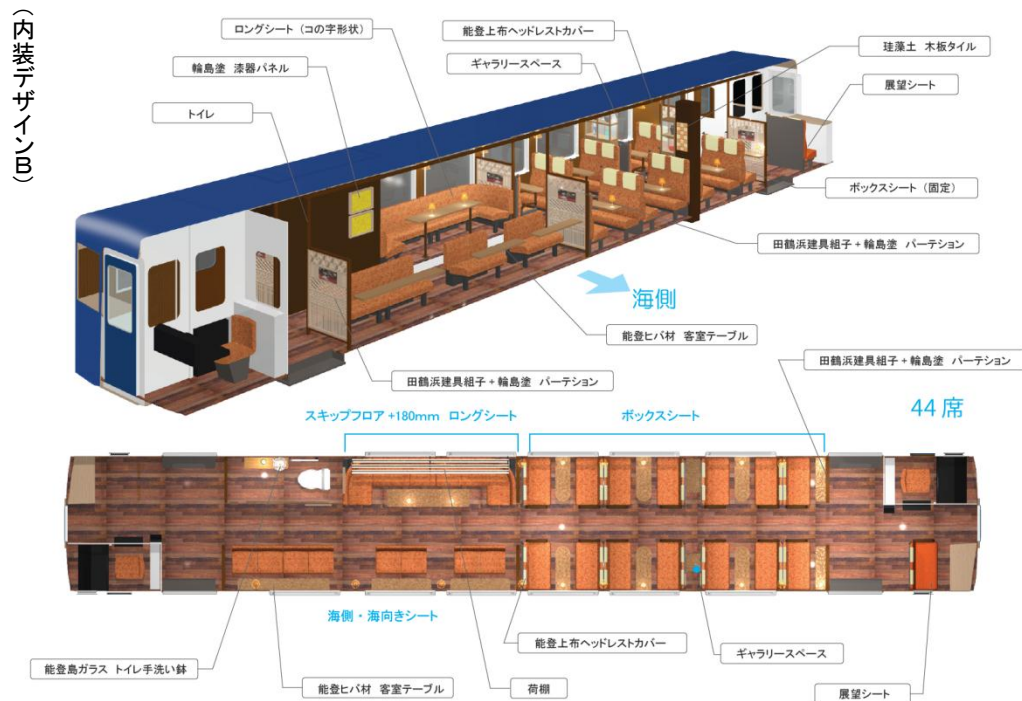


<内装④>
 ~ 食 ~

能登の旬の食材やスイーツなどを楽しむひと時を
 過ごしていただけるよう
 全席にテーブルを配置するとともに、
 冷蔵設備等を備えたサービスカウンターを設置。

乗車時間が40分~1時間と比較的短い中で、
 充実した一皿・一杯を味わっていただく。

- (例)
- ・コンパクトな「能登丼」の提供
 - ・能登大納言小豆を使用したスイーツの提供
 - ・能登の地酒、地ビール、能登ワインの提供 など



◇デザイン監修:

株式会社コボ (代表 山村 真一)